

陸軍工兵佐從五位勲四等功四級中島好問

安木

勲績調査書

明治

勲功甲

陸軍工兵佐從五位勲四等功四級中島好問

右、明治三十七年十月三日、第五臨時築城團長被仰付、尋テ滿洲軍ノ根據地トシテ有カナル防禦陣地ヲ遼陽附近ニ構成スヘキ訓令ヲ受ケ、同月十六日、遼陽ニ着スルヤ、訓令ノ要旨ニ從ヒ、太子河右岸河公堡附近ヨリ西上崗子、尖山子等ヲ經テ黑英臺ノ南方太子河右岸ノ高地ニ亘ル全長約九里ニ達スル陣地ノ偵察ヲ遂ケ、其構成ニ関スル諸般ノ計畫ヲ爲シ、十月下旬、其實施ニ着手セリ、當時結氷期ト迫リアルニ拘ラズ、數旬ナラスニテ陣地ノ骨子タル堡壘

大本營

砲臺及散兵壕ノ大部分ヲ構成シ滿洲軍ヲ
シテ其直後ニ一ノ信賴スヘキ防禦陣地ヲ得セ
シメ其作戰ヲ容易ナラシメタリ爾後十二月
中旬ヨリ完成作業ニ移リ以テ三十八年五月
ニ至レリ其功績實ニ大ナリ其成績勲功甲ト認

明治三十八年十一月十六日

大本營參謀總長元帥陸軍大將侯爵山縣有朋

0745

巻六

武田明細書

熱田甲

武田五右衛門

小島好男

有者以修平七年十月三日五時時敵軍長枝
 仰付三守ヲ湯河原ノ根拠地トシテ有力ナク防御
 陣地ヲ遼陽附近ニ移轉スルニ訓令ヲ受テ曰
 月十二日遼陽ノ西ノ方ニ訓令ノ高方ニ於テ大子河
 右山片河公堡附近ヲ西上山岡子・尖山子等ニ控メ
 英名ノ南方大子河左岸ノ高方ニ直ニ全長約九里ニ
 達スル陣地ノ修築ヲ遂ケテ移轉スルノ計
 中ニテ為シ十月下旬實就ニ至ルニ至リ為修築期
 ノ迫リ了ルニ拘ラズ數旬ナラスニテ陣地ノ骨子ヲ堡
 塁砲台及敷石橋ノ大部分ヲ移轉スルニ決意シテ
 馬車橋ニ一ノ管輅之ヲ修築スル陣地ヲ移セシメ

七 本 卷

其心誠々実々ありたりしに多し
身心業々務りて其功績實
ニ大ナリ依テ勳功甲ト認ム
其年俸

ナ
ス
年

0747

金沢の御

高木氏

一十月三日才五...

二... 東...

三九月二十二日...

ノ在...

シ...

四、在...

五、尖山子...

上...

六、...

七、...

八、...

七 本 三

岸 左

0748

今卯ノ号子ヲ梅子ノ者

六十一ノ年ノ中ノ向ノ日ノ二ホノ梅子ノ梅子ノ梅子ノ
何ノ年ノ年ノ年ノ年ノ年ノ年ノ年ノ年ノ年ノ年ノ年ノ年ノ年ノ
子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ子ノ

ニ
ナ
ス
管

0749

井切の廻り

徳川幕府

小島子切

右、以、延享七年十月三日、五、條、所、置、幕、所、是、村、
 依、所、藩、所、中、根、據、が、ト、シ、テ、有、力、之、防、禦、
 陣、地、ヲ、定、陣、所、也、據、本、之、中、新、令、之、事、
 々、同、月、十、二、日、幕、所、路、之、者、之、々、新、令、之、事、
 奈、路、ノ、西、北、方、河、上、保、土、ノ、西、南、方、太、子、河、右、岸、ノ、地、
 区、ヲ、西、上、山、岡、子、尖、山、子、等、ヲ、控、テ、里、ノ、英、台、ノ、
 高、者、太、子、河、左、岸、ノ、高、地、ニ、直、ニ、全、長、約、九、里、ニ、遠、之、
 陣、地、ノ、惣、幅、約、半、里、之、地、也、計、約、百、餘、町、ノ、下、
 旬、陣、地、ヲ、據、也、ニ、三、名、子、ノ、陣、地、也、
 此、陣、地、ヲ、據、也、
 此、陣、地、ヲ、據、也、
 此、陣、地、ヲ、據、也、

此、陣、地、ヲ、據、也、

